

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表（平成25年度地域内フィーダー系統）

近畿運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点	評価結果	
3	生駒市地域公共交通活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	生駒交通株式会社 コミュニティバス暗峠系統(1)及び(2)	近畿日本鉄道(株)生駒線 南生駒駅を經由する、南コミュニティセンターせせらぎ～暗峠間2系統の運行	A	A	地域の活性化という目的を達成するためにも、コミュニティバスの永続的な運行が求められるところであり、その実現のため、以下のような利用促進策を継続する。 ・沿線自治会における利用の呼びかけ ・市ホームページや広報紙を活用したコミュニティバスの周知(時刻、利用状況、収支状況等) ・利便性向上のための運行ダイヤの修正。(既に実施しているが、今後も利用状況に応じ対応を検討。)	生駒市地域公共交通活性化協議会では、高齢化が進み、鉄道駅まで遠く、急勾配で道が狭隘なことから既存交通がない交通空白地域と、近鉄南生駒駅間を、確保維持事業を活用し、小型バスにより運行を確保している。 平成25年度は、当該地区の生活交通を確保すること、収支率の改善を目標としている。 事業実施の適切性については、自己評価のとおり適切に実施できたと評価できる。 目標・効果達成状況については、利用者数が前年度を下回る結果となっている。そうした状況を踏まえて、事業目的達成ため、適切な定量的目標を定めて評価することにより、事業改善に役立てることが重要である。 持続的な運行確保のため、地域住民・沿線への利用啓発等により、より効果的な事業の実施に努められたい。	